

徳島県報

発行者 徳島県

発行所 徳島県企画総務部

法制監察課

定期第885号 令和7年10月31日発行

次 目

は県	例ま	見集	沯	載.
100/10		ソレノへ		

【告		· 木 [7] /元 宋 · ·	. 豆. 単X		
番	£	릉	表	題	担当課名
5	5	7	令和7年度自衛官候補生0	D募集期間、採用	防災対策推進課
			試験の試験期日、試験場等	筝を告示する件	
5	5	8	瀬戸内海環境保全特別措置	置法の規定に基づ	環境管理課
			く特定施設の設置の許可の	D申請があった件	
5	5	9	同		同
5	6	0	同		同
5	6	1	指定居宅サービス事業の原	隆止について届出	長寿いきがい課
			があった件		
5	6	2	鳥獣保護区の存続期間を見	更新した件	鳥獣対策・里山 振興課
5	6	3	鳥獣保護区特別保護地区を	を指定した件	同
5	6	4	特定猟具使用禁止区域を批	旨定する件	同
5	6	5	建築基準法の規定に基づく	〈指定構造計算適	住宅課
			合性判定機関から構造計算		
			務を行う事務所の所在地の	り変更について届	
			出があった件		
5	6	6	特定調達契約について随意	意契約の相手方を	出納局会計課
			決定した件		
【公	告	i]			
番	£	크	表	題	担当課名
			争議行為の予告		労働雇用政策課

【選挙管理委員会告示】

番 号 表 題 担当課名

- 9 1 政治資金規正法の規定に基づき届出のあった政治団体の名称等を公表する件
- 9 2 政治資金規正法の規定に基づく政治団体の 届出事項の異動の届出があった件
- 9 3 政治資金規正法の規定に基づく政治団体の 解散の届出があった件
- 9 4 政治資金規正法の規定に基づく資金管理団 体の指定の届出があった件
- 95 不在者投票を行うことができる施設を指定した件の一部を改正する件

【公安委員会告示】

番 号 担当課名

- 15 令和2年徳島県公安委員会告示第10号(警備員等の検定等に関する規則第2条の表 の6の項の上欄に規定する徳島県公安委員 会が道路における危険を防止するために必 要と認める交通誘導警備業務に係る路線及 び区間を指定する件)を廃止する件
- 16 警備員等の検定等に関する規則第2条の表の6の項の上欄に規定する徳島県公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認める交通誘導警備業務に係る路線及び区間を指定する件

【正誤】

番 号 担当課名

令和7年5月9日付け徳島県報第825号 人事委員会

中訂正

德島県告示第五百五十七号

候補生の募集期間、採用試験の試験期日、 第百十八条の規定により、 自衛隊法施行令(昭和二十九年政令第百七十九号)第百十四条、 令和七年度の陸上自衛隊、 試験場等を次のとおり告示する。 海上自衛隊及び航空自衛隊の自衛官 第百十七条第一項及び

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後藤田 正 純

一募集期限、試験期日及び試験種目

男子及び女子の陸上自衛隊、 海上自衛隊及び航空自衛隊の自衛官候補生

	第 五 回	試験回
	(火曜日)まで令和七年十二月二日	募集期限
令和七年十二月十三日(土曜日)	令和七年十二月十一日 (木曜日) 予備日 予備日 のいずれか一日	試験期日
査のが身体検	査記試験及び適性検	試験種目

備老

- するものとする。 筆記試験及び適性検査については、 インターネットを利用する方法により受験
- 2 試験するものとする。 育法(昭和二十二年法律第二十六号)に定める高等学校卒業程度の学力について 筆記試験は、国語(作文を含む。 数学、地理歴史及び公民につき、 学校教

口述試験及び身体検査試験場

男子及び女子の陸上自衛隊、 海上自衛隊及び航空自衛隊の自衛官候補生

住吉開拓三八	板野郡松茂町住吉字住吉開	島航空基地	海上自衛隊徳日	第五回
置	位	称	名	試験回

三 応募資格

法に定める高等学校卒業程度以上の学力を有し、かつ、次のいずれにも該当しないもの 若しくは同法第十三条に規定する禁錮に処せられ、その執行を終わるまで又はその執 条の規定による改正前の刑法 (明治四十年法律第四十五号)第十二条に規定する懲役 日本国籍を有し、 拘禁刑以上の刑又は刑法等の一部を改正する法律 (令和四年法律第六十七号) 第二 採用予定月の初日現在で十八歳以上三十三歳未満の者で、 学校教育

2 法令の規定による懲戒免職の処分を受け、 当該処分の日から二年を経過しない者

行を受けることがなくなるまでの者

3 の団体を結成し、又はこれに加入した者 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他

兀 採用予定月

五

志願票は、各市役所若しくは各町村役場又は自衛隊徳島地方協力本部若しくはその出志願票の受領及び提出先令和八年三月又は四月

張所等で受領し、提出すること。

徳島県告示第五百五十八号

とおり告示する。 く特定施設の設置の許可の申請があったので、 瀬戸内海環境保全特別措置法 (昭和四十八年法律第百十号) 第五条第一項の規定に基づ 同条第四項の規定により、 その概要を次の

事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。 なお、 この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 田 正 純

申請の概要

申請者

称 日亜化学工業株式会社

所 阿南市上中町岡四九一番地一〇〇

代表者 代表取締役 小川裕義

2 工場又は事業場

所 在 地 称 日亜化学工業株式会社 辰巳工場

阿南市辰己町一番地一九

3 特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一第六十三号ホに

規定する廃ガス洗浄施設

4 特定施設及び汚水等の処理に関する事項

二の縦覧の期間及び場所において、 関係書類を備え置いて縦覧に供するとともに、

徳島県生活環境部環境管理課ホ— ムペー ジにお L١ て公表する。

縦覧の期間及び場所

令和七年十月三十一日から

令和七年十一月二十一日まで

2

徳島県生活環境部環境管理課及び阿南市市民部環境保全課

徳島県告示第五百五十九号

とおり告示する。 く特定施設の設置の許可の申請があったので、 瀬戸内海環境保全特別措置法 (昭和四十八年法律第百十号) 第五条第一項の規定に基づ 同条第四項の規定により、 その概要を次の

事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。 なお、 この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 田 正 純

申請の概要

申請者

株式会社ジェイテクト 徳島工場

所 板野郡藍住町奥野字山畑一番地

代表者 工場長 伊藤正人

2 工場又は事業場

株式会社ジェイテクト 徳島工場

所 在 地 称 板野郡藍住町奥野字山 畑一番地

3 特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一第七十二号に規

定するし尿処理施設

4 特定施設及び汚水等の処理に関する事項

二の縦覧の期間及び場所において、 関係書類を備え置いて縦覧に供するとともに、

徳島県生活環境部環境管理課ホ— ムペー ジにお L١ て公表する。

縦覧の期間及び場所

令和七年十月三十一日から

令和七年十一月二十一日まで

2

徳島県生活環境部環境管理課及び藍住町生活環境課

徳島県告示第五百六十号

とおり告示する。 く特定施設の設置の許可の申請があったので、 瀬戸内海環境保全特別措置法 (昭和四十八年法律第百十号) 第五条第一項の規定に基づ 同条第四項の規定により、 その概要を次の

事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。 なお、 この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 田 正 純

申請の概要

申請者

四国化成工業株式会社 徳島工場

所 板野郡北島町江尻字内中須一番地

代表者 執行役員工場長 溝部昇

2 工場又は事業場

所 在 地 称 四国化成工業株式会社 徳島工場

板野郡北島町江尻字内中須一番地

3 特定施設の種類

水質汚濁防止法施行令(昭和四十六年政令第百八十八号)別表第一第四十六号口に

規定するろ過施設及び同号二に規定する廃ガス洗浄施設

4 特定施設及び汚水等の処理に関する事項

二の縦覧の期間及び場所において、 関係書類を備え置いて縦覧に供するとともに、

徳島県生活環境部環境管理課ホ— ムペー ジにお いて公表する。

縦覧の期間及び場所

令和七年十月三十一日から

令和七年十一月二十一日まで

2

徳島県生活環境部環境管理課及び北島町まちみらい課

徳島県告示第五百六十一号

介護保険法(平成九年法律第百二十三号)第七十五条第二項の規定により、指定居宅サービス事業の廃止について、次のとおり届出

があった。

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後藤田 正 純

		1	
社会医療法人川島会	合同会社わんわん	名称	指定居
	六八徳島市南矢三町二丁目一	所 在 地	居宅サービス事業者
業所飛鳥指定訪問介護事	へルパー ステーショ	名称	指定居宅サー
同 北佐古一番町六 一	六八徳島市南矢三町二丁目一	所 在 地	指定居宅サービス事業を行う事業所
同	訪問介護	種類	サービスの
九日九月	二十二日 令和七年八月	の受理日	廃止の届出
同	三十日 三十日	年月日	廃止

徳島県知事 後 藤 田 正 純

鳥 福 獣井 保 ダ 護 凶 区 湖	獣 宗 護 区 鳥
県道との交点に至り、同所から同県道を東に進み 「関連との交点に至り、同所から同県道を東に進み 「関連を南西及び南に進み小野跨道橋に至り、同所から 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から同橋を南西及び北西に進み下原橋北詰に至り、同所から更に 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「原高三三二・三メートル」に至り、同所から更に 「原高一五三・四メートル」に至り、同所から更に でではみの でではるの でではるの でではるの ででではるの ででではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではるの でではる。 でではる。 でではるの でではる。 ででいる。 でではる。 ででいる。 でではなる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではる。 でではなる。	根野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条大橋との交点を起点とし、同所から同橋を南に進たに至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同議岸を西に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同様を北に進み高瀬橋南詰に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境界線との交点に至り、同所から同境を南に進み六条大橋北詰に至り、同所から同橋を南に進みから同様を北詰に至り、同所から同橋を南に進み六条大橋北詰に至り、同所から同境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町と名西郡石井町との境界線と六条板野郡上板町との東には、1000円が
クー タカ ー ルへ	ターハ ハハヘク
同	同
身近な鳥獣生息地	集団渡来地
電井川と下原谷川が合流する 福井川と下原谷川が合流する 付近に位置し、シイ、カシ類 を主体とする照葉樹が広く分 布していることから、野生鳥 獣の生息環境として良好であ ると認められる。また、同所 には県営福井ダムがあり、そ の周辺は水際公園として整備 されていることから、鳥獣保 されていることから、鳥獣保	し、野生鳥獣の保護を図る。とした水鳥の集団渡来地になら、野生鳥獣の保護を図る。

鳴門コウノー・鳴	護図 鳴滝鳥獣保 た同同を進 惣 ル 同 同 と の 一 所 所 北 み み 大 の 所 町 の	保護区 保護区 保護区 会 道 らに郷石境市 高 を 谷 と 高 道 り 同 進 を う に 郷 を た う に り の り の り の り の り の り の り の り の り の り
鳴門市大麻町の鳴門藍住大橋北詰を起点とし、	た一円の区域 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川 美馬郡つるぎ町貞光字猿飼の鳴滝谷川と貞光川	は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、
四九〇へ	ターハ ク ク	クタール
同	同	同
希少鳥獣生息地	同	森林鳥獣生息地
この区域は、レンコン畑を	でとした森林地域であり、常 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急傾斜であるため、人を寄 が急順斜であるため、人を寄 ではけない地形であり、地形 な鳥獣の生育に適しているこ とから、鳥獣保護区に指定し とから、鳥獣保護区に指定し を図る。	。 この区域は、高越山の山頂 がら高越寺に至る天然林の群落 に代表される自然度の高い森 に代表される自然度の高い森 はで構成されており、多様な 鳥獣の生息に適していること から、鳥獣保護区に指定し、 。 。

																護区	
																	トリ鳥獣保
板東橋線との交点に至り、同所から同市道を西に	交点に至り、同所から同県道を西に進み市道津慈	同県道を南西及び北西に進み県道徳島北灘線との	に進み県道津慈広島線との交点に至り、同所から	谷川東線との交点に至り、同所から同市道を南東	点に至り、同所から同市道を東に進み市道第二大	ら同市道を南に進み市道土池川放水路北線との交	東に進み市道堀江中央線との交点に至り、同所か	畑松村竹添線との交点に至り、同所から同市道を	の交点に至り、同所から同市道を東に進み市道高	から同市道を東に進み市道高畑居屋敷西中央線と	み市道高畑居屋敷西一号線との交点に至り、同所	号線との交点に至り、同所から同市道を南東に進	至り、同所から同市道を東に進み市道池谷浜田一	県道を北に進み市道池谷萩原春日橋線との交点に	進み県道徳島北灘線との交点に至り、同所から同	央一号線との交点に至り、同所から同市道を東に	同所から市道板東藍住線を北に進み市道板東南中
																	クタール
			全を図る。	めとする鳥類の生息環境の保	を保持し、コウノトリをはじ	区に指定し、当該区域の静寂	、希少鳥獣生息地の鳥獣保護	して期待されていることから	トリが飛来し、その繁殖地と	特別天然記念物であるコウノ	内希少野生動植物種かつ国の	七十五号)の規定に基づく国	関する法律 (平成四年法律第	ある野生動植物の種の保存に	ているため、絶滅のおそれの	り、水生生物が豊富に生息し	中心とした広大な湿地が広が

令和七年十月三十一日別保護地区を指定する。 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(平成十四年法律第八十八号)第二十九条第一項の規定により、次のとおり特徳島県告示第五百六十三号

徳島県知事 後 藤 田 正 純

護 護 鳴地 区 特 島 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田 田	保 保護地 区 特別 別	区の名称地
同所から同川を南東に進み起点に至る線で囲まれている。同所から同境線を東に進み同川との交点に至り、同所から同境界線を南西に進み株道を西に進みは、同所から同境界線を南西に進み標高七九六メート同町貞光と同町一宇との境界線との交点に至り、同所から同様ので点に至り、同所から同境界線を南西に進み標高七九六メートの交点を起点とし、同所から同川を南東に進みとの交点を起点とし、同所から同川を南東に進みとの交点を起点とし、同所から同川を南東に進みとの交点を起点とし、同所から同川を南東に進みとの交点を起点とし、同所から同川を南東に進みとの交点に至り、同所から同川を南東に進みとの交点に至り、同所から同川を南東に進みに重みが高い。	る線で囲まれた一円の区域 所から植生界を北東、東及び南東に進み起点に至進み同市と美馬市との境界線との交点に至り、同に進み通称茅の丸に至り、同所から奏野井谷を北恵に進み同市と美馬市との境界線との交点に至り、同所から南西に参道一一丁目の石標を起点とし、同所から南西に参道一一丁目の石標を起点とし、同所から南西に青野川市山川町楠根地から高越寺に至る楠根地吉野川市山川町楠根地から高越寺に至る楠根地	区域
タール六二へク	クタール	面積
同	三十一日まで 月一日から令 で	存続期間
同	森林鳥獣生息地	指定区分特別保護地
全並びに鳥獣の生息環境の維を立びに鳥獣の生息環境の維を立ていることから、特別保護地区に指定な鳥獣の生育に適していることから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、特別保護地区に指定とから、現況の地形及び植生の保	。 の良好な生息地の確保を図る とから、特別保護地区に指定 とから、特別保護地区に指定 し、当該区域に生息する鳥獣 の良好な生息に適しているこ で良好な生息がのでいるこ	(区分 指 定 目 的特別保護地区の保護に関する指針

持を図る。

三十五条第一項の規定により、 - 鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 (平成十四年法律第八十八号) 第徳島県告示第五百六十四号 次のとおり特定猟具使用禁止区域を指定する。

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 藤 田 正 純

禁止に係る特定猟具の種類

銃 器

特定猟具使用禁止区域の名称、 区域、 面積及び存続期間

同	クタール	に至る線で囲まれた一円の区域 「に至る線で囲まれた一円の区域 「に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域 に至る線で囲まれた一円の区域	域 用 定 鮎 禁 猟 喰 止 具 川 区 使 特
同	ク 二 ター ル へ	田の区域 田の区域 田の見通し線を西に進み同境界標に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を再に進み同橋脚に至り、同所から 一の見通し線を 市詰から二本目の橋脚との見通し線を 中ででする。 一の見通し線を 市に至り、同所から 一の見通し線を 市に至り、同所から 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し線を 一の見通し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一の見画し。 一のと 一のと 一のと 一のと 一のと 一のと 一のと 一のと	止 具 口 吉区 使 特 野域 用 定 川 禁 猟 河
一日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	タール ク	に至る線で囲まれた一円の区域神山国府線との交点に至り、同所から同境界線を北に進み県道の境界線との交点に至り、同所から同境界線を北に進み県道点に至り、同所から同県道を西に進み同市と名西郡神山町と起点とし、同所から同市道を南に進み県道神山鮎喰線との交起点とし、同所から同市道を南に進み県道神山鮎喰線との交に至る線で囲まれた一円の区域	禁 猟 月 日 区 域 用 定
存続期間	面積	区域	名称

上区域 開 第 川 内 宮川 内 宮川 内 谷 学 界 所 至 吉 居 線 線 原 岸 境 内	禁止区域にあか	禁猟り満り、前り、前のでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが
交点に至り、同所から同自動車道を南東に進み同堤防との交別の交点に至り、同所から同川を北に進み町道三五七号線との交点に至り、同所から同町道を西に進み町道三五七号原樋門南詰に至り、同所から同町道を北に進み町道五二七号原樋門南詰に至り、同所から同町道を北及び北に進み下岸堤防との交点に至り、同所から同町道を北及び北に進み下に進みの交点に至り、同所から同町道を北及び北西に進み市に進みの交点に至り、同所から同町道を北及び北西に進み市に進みの交点に至り、同所から同野道を西に進み町道三五七号線との交点に至り、同所から同町道を北及び北西に進み下に進みの交点に至り、同所から同町道を北及び北西に進み市に進みの交点に至り、同所から同間がを東及び南東に進みの境界線との交点に至り、同所から同間がある同境界線を北に進み町道三五七号線との交点に至り、同所から同間がを東及び南東に進み同川左線との交点に至り、同所から同間がを東及び北に進み同川左線との交点に至り、同所から同間がを東及び北に進み下に進みの交点に至り、同所から同間がを北に進み同間が表記に進み同間が表記に進み同間が表記に進み同場がある。	まれた一円の区域の交点に至り、同所から同汀線を西に進み起点に至る線で囲橋北詰に至り、同所から同県道を西に進み県道徳島北灘線四国三郎に至り、同所から同県道を西に進み県道土成徳島線との交点点に至り、同所から同線を南に進み県道土成徳島線との交点がら旧吉野川右岸を北東、北及び東に進みJR高徳線との交板販野郡上板町第十新田の第十樋門橋南詰を起点とし、同所	田の区域 田ので点に至り、同所から同県道を西に進み同町大字2回字時安で同県道との交点に至り、同所から同県道を南西に進み同町大字2回字時安で同県道との交点に至り、同所から同県道を西ので点に至り、同所から同県道を西ので点に至り、同所から同野が 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田の区域 田のので点に至り 田のので点に至り 田ので点に至る線で囲まれた一 田ので点に 田のでの 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田ので点に 田のでの 田の 田のでの 田のの 田の
タ 五 ー ル ク	ール 〇へクタ 二、〇三	クター セ ル
同	同	同

禁 猟 野 阿 止 具 部 南 区 使 特 市 域 用 定 平	域 用 定 羽 那 禁 猟 ノ 賀 止 具 浦 川 区 使 特・
四港南島線を東に進み同市辰己町の同県道終点に至り、同所から同川左岸を西に進み東に進み市道を南東に進み市道を南東に進み市道との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道を中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道北ノ脇南林線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中村線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中村線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中村線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・中村線との交点に至り、同所から同市道を南西に進み市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市道・市	国道を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域所から同橋を南に進み起点に至り、同所から同東道を西に進み県道阿南羽ノ浦県との交点に至り、同所から同県道を西に進み県道阿南羽ノ浦山並み遊歩道の起点に至り、同所から同県道を西に進み県道阿南羽ノ浦山並み遊歩道の起点に至り、同所から同県道を西に進み県道勝に場ので点に至り、同所から同県道を西に進み県道勝に進み同市と小松島市との境界線との交点に至り、同所から同県道を西に進み県道勝に進み同市と小松島市との境界線との交点に至り、同所から同県道を西に進み県道勝に進み同市と小松島市との境界線との交点に至り、同所から同県道を西に進み県道勝に延り、同所から同場を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域に至り、同所から同場を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域に至り、同所から同場を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域に至り、同所から同場を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域に至り、同所から同場を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域がら同様を南東に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域がある。
O 三 ル ク 六 夕 〇	ー ハ ク へ ク タ 六
同	同

同	ク ター ル	同所から同谷を南に進み町道なぎ線との交点に至り、同所か察署管理)に至り、同所から北東に入る道を進み谷に至り、同所から同国道を南東に進み標柱(徳島県公安委員会牟岐警同所から同町道を北に進み一般国道五五号との交点に至り、から町道辺川駅前線を東に進み町道小松線との交点に至り、海部郡牟岐町大字橘のJR牟岐線辺川駅を起点とし、同所	区 使 特 牟 域 用 定 猟 禁 猟 止 具 灘
同	クタール	所から同県道を南に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域に進み市道藁野重友線藁野橋南詰に至り、同所から同川右岸を北東に進み桑野川右岸との交点に至り、同所から同県道を北東及び北西との交点に至り、同所から同県道を北東及び北西のび東に進み一般国道一九五号との交点に至り、同所から同市道を北東に進み桑野川右岸との交点に至り、同所から同県道を北西に進み県道阿線との交点を起点とし、同所から同市道を北西に進み県道羽ノ浦福井線と市道廿枝室ノ久保阿南市新野町廿枝の県道羽ノ浦福井線と市道廿枝室ノ久保	域 用 定 桑 宇 禁 猟 野 井 止 具 谷 区 使 特・
		日前の区域 日前の区域 日前の区域 日前の区域 日前の区域 日前の区域 日前の区域 日前の日間道を経てJR牟岐線露田踏切に至り、同所から 市道津乃峰参道線を北及び西に進み津乃峰鳥獣保護区との 交点に至り、同所から同境界線を北西及び北に進み 原所から同川を北東に進み市道西方下大野線との交点に至り、同所から同境界線を北西及び北に進み 同所から同川を北東に進み市道西方下大野線との交点に至り、同所から同県道を本に進み県道アは 東に至り、同所から同県道を西及び北に進み開田との境界線との 交点に至り、同所から同県道を西及び北に進み明台橋東語に至り、同所から同川を北東に進み市道理別月末に進み 原本地区でで点に至り、同所から同県道を西区で南に進み 東に至り、同所から同県道を西区で南に進み明台橋東語に至り、同所から同川を北東に進み県道羽ノ浦福井線との交点に至り、同所から同県道を本に進み 東に至り、同所から同県道を西区で南に進み明台橋東語に至り、同所から同川を北東に進み水路との で空り、同所から同川を北東に進み水路との で空り、同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から同県道を西区で本田に進み 東語に至り、同所から同原が 同水路を北西に進み県道大井南島線との で点に至り、同所から同所から同県道を西区で本田に進み 東語に至り、同所から同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所から 同所から同川を北東に進み水路との で点に至り、同所から 同所が ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、	

同	一、二七	脇町・岩 美馬市脇町野村の県道鳴門池田線と野村谷川との交点を起	
		み起点に至る線で囲まれた一円の区域」、日年岐線との交点に至り、同所から同線を北及び北東に進	
		長との境界線との交点に至り、同所から同境界線を東に進み」。建物東端との見通し線を北に進み同町大字中村と同町大字川	
		み同鉄塔に至り、同所から送電線を北東に進み海部老人ホー 匹国電力送配電送電線甲浦支線鉄塔との見通し線を南東に進	
		' /	
		進み谷との交点に至り、同所から同谷を南東に進み正観寺に 精舎西側)との交点に至り、同所から同山道を北及び南東に	
		町道を北西に進み旧百	
		り、同所から同町道を西に進み町道奥前線との交点に至り、	
		ら同町道を北西及び北東に進み町道大山二号線との交点に至	
		1	
		に進み四国電力送配電送電線との交点に至り、同所から同送	
		o同稜線を西に進み更に山田トンネルを越え西及び北	
		미미	
)	
		麦大喬こ至)、司所から司国道を北東こ進み町道大谷一号線 じ、 同所から海岸線を南及て西に進み内ತ川河口の同国道内	
		尖	
		を経て家谷造船所に至り、同所から漁港突堤を西に進み対岸	
		岸線との交点に至り、同所から同海岸線を南西に進み小張崎	
		展望台を経て谷との交点に至り、同所から同谷を南に進み海	
		佐牟岐線との交点に至り、同所から同県道を北東に進み第四	
		ני	
		み北側の山道との交点に至り、同所から同山道を東に進み町	
		P/1	
		РЛ	
		/J`	
		同町道を南に進み町道辺川一号線との交点に至り、町道を南に進み町道辺川一号線との交点に至り、	
		一、0司叮道を南西に進み叮道辺川二号泉との交点に至り、司沂一	_

II. 🗸	クターハニハ	西に県を南いる田野南語では、近川の東京の一部では、東京の中では、東京の一部では、東京のでは、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京の一部では、東京のでは、東のではのではでは、東のではではではではでは、東京のではでは、東京のではではではではではではではではではではではではではではではではではではでは	禁 猟 池 止 具 田 区 使 特 域 用 定
7 ク	タ 二 五 ル ヘ	道を南西に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域 三好市山城町末貞の一般国道三二号と一般国道三一九号と の交点を起点とし、同所から同国道を西に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持五号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持五号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持五号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持五号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道大川持三号線との交点に至り、同所から同本では、同所から同国では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本	域 用 定 大 禁 猟 川 止 具 持 区 使 特
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ー 四 ル ク タ	点とし、同所から同川を北に進み徳島自動車道との交点に至り、同所から同自動車道を東に進み市道脇町一七号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同市道を東に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同市道を北に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同市道を北東に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同東道を北に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同東道を北に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同東道を本に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同東道を本に進み市道脇町一八号線との交点に至り、同所から同場道を南に進み上曽江谷橋西詰に至り、同所から同国道を本に進み市道路町上八号線との交点に至り、同所から同場道を西に進み上曽江谷橋西話に至り、同所から同場道を本に進み上曽江谷橋西話に至り、同所から同場道を本に進み市道脇町一十号線との交点に至り、同所から同場道を西に進み同様がある場所がある。	止 具 倉 区 使 特 域 用 定 禁 猟

同	クタール ル	で囲まれた一円の区域号との交点に至り、同所から同国道を西に進み起点に至る線、同所から同境界線を東、北東及び南に進み一般国道一九二から同橋を北に進み同町と美馬市との境界線との交点に至り美馬郡つるぎ町半田字中藪の美馬橋南詰を起点とし、同所	区 使 特 貞 域 用 定 猟 具 二
同	タールク	北に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域、同所から同農道を東に進み正夫谷との交点に至り、同所から同農道を南西に進み正夫谷との交点に至り、同所から同農道を南西に進み農道喫正夫線との交点に至りとし、同所から同谷を東に進み農道樫山吹線との交点に至りとし、同所から同谷を東に進み農道樫山吹線との交点を起点三好市井川町井内東の県道大利辻線と影谷との交点を起点	止 具 吹区 特定 報 禁 猟
同	タール	道を西に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域で南に進み町道岸上滝久保線との交点に至り、同所から同町道に進み町道男山滝久保線との交点に至り、同所から同町道を内での交点(指出橋)を起点とし、同所から同谷を北西に進谷との交点(指出橋)を起点とし、同所から同谷を北西に進いでは、指出橋)を起点とのでは、同所から同谷を北西に進いが、	域 用 定 流 外 上 以 保 特 長 特 十 年 十 年 十 年 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十
		町白地の白地牧場の外周で囲まれた区域南に進み起点に至る線で囲まれた一円の区域並びに同市池田東に進み一般国道三二号との交点に至り、同所から同国道を県道白地州津線との交点に至り、同所から同県道を北東及び	

徳島県告示第五百六十五号

づき、 の変更について届出があったので、 建築基準法(昭和二十五年法律第二百一号)第七十七条の三十五の八第二項の規定に基 指定構造計算適合性判定機関から構造計算適合性判定の業務を行う事務所の所在地 同条第四項の規定により次のとおり公示する。

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 藤 田 正 純

一指定構造計算適合性判定機関の名称及び住所

日本建築検査協会株式会社

東京都中央区日本橋三丁目一三番一一号

二 構造計算適合性判定の業務を行う事務所の所在地

変更前 構造判定部

東京都中央区日本橋二丁目一二番六号

変更後 構造判定部

東京都中央区日本橋二丁目一二番九号

三 変更する日

令和七年十一月一日

徳島県告示第五百六十六号

十二号)第一条に規定する特定調達契約について随意契約の相手方を決定したので、 公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令(平成七年政令第三百七十 二号)第十二条の規定により次のとおり公示する。 徳島県の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める規則(平成八年徳島県規則第二 地方

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 藤 田 正 純

| 契約に係る特定役務の名称及び数量

財務会計システム改修(POSシステム導入対応等)業務 一式

契約に関する事務を担当する課等の名称及び所在地

徳島県出納局会計課

徳島市万代町一丁目一番地

三 契約の相手方を決定した日

令和七年九月十六日

| 株式会土N「「データ団国| |契約の相手方の氏名及び住所|

四

株式会社NTTデータ四国

愛媛県松山市三番町四丁目九番地六

五 契約金額

五千百十五万円

六 契約の相手方を決定した手続

随意契約

七 随意契約による理由

地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第十一条第一項第

号号

公

する。 係調整法施行令(昭和二十一年勅令第四百七十八号)第十条の四第四項の規定により公告 降、同組合員が従事する次の職場において争議行為を行う旨の通知があったので、労働関ー 徳島県厚生連労働組合から二〇二五年年末一時金要求に関して令和七年十月三十一日以

令和七年十月三十一日

徳島県知事 後 藤 田 正 純

阿南市宝田町川原六- |

阿南医療センター

阿波市市場町市場字岸ノ下一九〇-一吉野川医療センター 吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島一二〇

阿波病院

項の規定により、その名称等を次のとおり告示する。(政治資金規正法(昭和二十三年法律第百九十四号)第六条第一項の規定に基づく政治団体の届出があったので、徳島県選挙管理委員会告示第九十一号 同法第七条の二第

徳島県選挙管理委員会委員長

岩

丸

正

史

令和七年十月三十一日

国会議員関係政治団体以外の政治団体のの政治団体(政党及び政治資金団体以外の政治団体)

	亲 し し 厚 の 会) N II	古 百 E 初 技	15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 1	会里な フを 放送する 会	ラ予隹 フェンミナる会	かしはらせてきるお子	かざは、うらからを受べ	(後藤しおん後援会)	草 莽 崛 起	サイル 後 接 会	井 こ 1	正治国行公会利	女台団本の名尔
		Z	村	上支	里太	モ 予 隹	7	尾京 5 人 6	1	泰	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	++	作売者の日発	た 長 着 り モ い
		Z Z	里	上 予 改 失		モ 予 佳	が	公 有		\tau		三 井	の氏名	会計責任者
鳴門市撫養町大桑島字北ノ浜	- 『門 計撰 春田 斎田 写 丿 埙二 一 叮			可有方法日丁川京 10	三 - 六	鳴門市大麻町桧字中山田	一三四 - 五五	阿南市那賀川町上福井南川渕	メゾン城西四〇五号	徳島市南矢三町一丁目九 - 五	一七六九番地二	名西郡石井町高川原字高川原	三たる事矛戶の戶では	上こる 事务斤の斤王也
令和七年	十月七日	令和七年	十 月 二 日	令和七年	十 月 一 日	令和七年	九月三十日	令 和 七 年	九月二十二日	令和七年	九月十八日	令 和 七 年	后出生	

援会 高 木 飛 鳥 日 下 夢

奈

六七番地

高木あすか後

十月

七 日

徳島県選挙管理委員会告示第九十二号

法第七条の二第一項の規定により、次のとおり告示する。 政治資金規正法(昭和二十三年法律第百九十四号)第七条第一項の規定に基づく政治団体の届出事項の異動の届出があったので、 同

令和七年十月三十一日

政党の支部

政治団体の名称

代表者の氏名

異動事項

新

異

動

の

内

容

旧

異動年月日

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸

正

史

二 その他の政治団体(政党及び政治資金団体以外の政治団体)

徳

島

維

新

の

会

浦

野靖人

代表者の氏名

浦野靖人

池下

卓

九

月三十

日

令

和

七

年

		Ē	東		II.	女
					なる名	司団本の名が
					<u>1</u> -	ť
					1 1 1	と B
		=	7		E	t 3
所在地	主たる事務所の	氏名	会計責任者の	代表者の氏名	重	星 协
二一四番地	鳴門市撫養町斎田字大堤	7	木	宮﨑貴子	新	異動
八四	鳴門			東		о +
-	巾鳴門町高島字北	_	Ē	台 伸 治	旧	内容
		九日	令		星	星
		十			重	in
		四日			F E]
		- 二一四番地 - 二一四番地 - 鳴門市撫養町斎田字大堤	所在地 二一四番地 八四 - 一 九月 十四 (4) (2) (2) (3) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	事務所の 鳴門市撫養町斎田字大堤 鳴門市鳴門町高島字北 九月十四 任者の 女 木 真 紀 東 谷 亜 衣 九月十四	中 会 宮崎貴子 1.1 四番地 1.1 四番地 1.1 四番地 1.2 四都地 1	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

九月十二日

令和七年十月三十一日の規定により、次のとおり告示する。の規定により、次のとおり告示する。 政治資金規正法(昭和二十三年法律第百九十四号)第十七条第一項の規定に基づく政治団体の解散の届出があったので、徳島県選挙管理委員会告示第九十三号

その他の政治団体 (政党及び政治資金団体以外の政治団体)

秋

畄 政 芳 治 寸 郎 体 の 名 後 称 援 会 福 代表者の氏名 居 士 徳島県選挙管理委員会委員長 郎 令 和 七 解散年月日 年 + 月 十 四 日 岩 丸

正

史

同条第三項

徳島県選挙管理委員会委員長 岩 丸

正

史

矢		資
野	氏	金管
太 隹	名	代表理団体
大		2表者)の
議会議門市	公職の種類	(代表者)の氏名(金管理団体の届出をした者)
矢野雄大を応援する会	名称	》
鳴門市大麻町桧字中山田一三 - 一一六 大 安 昭	主たる事務所の所在地代表	金管理団体
野 雄 大	2表者の氏名	
十令月和一日		指定年月日

徳島県選挙管理委員会告示第九十五号

定した件)の一部を次のように改正し、令和七年十月二十二日から施行する。 平成十九年徳島県選挙管理委員会告示第十号(不在者投票を行うことができる施設を指

令和七年十月三十一日

一の表4の項中「医療法人敬願分 徳島県選挙管理委員会委員長 南海病院」や「凪の音ホスピタル」 に改める。

徳島県公安委員会告示第15号

令和2年徳島県公安委員会告示第10号(警備員等の検定等に関する規則第2条の表の6の項の上欄に規定する徳島県公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認める交通誘導警備業務に係る路線及び区間を指定する件)は、令和8年3月31日限り、廃止する。

令和7年10月31日

徳島県公安委員会委員長 稲 井 芳 枝

徳島県公安委員会告示第16号

警備員等の検定等に関する規則(平成17年国家公安委員会規則第20号)第2条の表の6の項の上欄に規定する徳島県公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認める交通誘導警備業務は、次の表の左欄に掲げる路線に応じ、同表の右欄に掲げる区間において行うものとし、令和8年4月1日から施行する。

令和7年10月31日

徳島県公安委員会委員長 稲 井 芳 枝

路線	区間
1 一般国道11号	徳島県の全域
2 一般国道28号	徳島県の全域
3 一般国道32号	徳島県の全域
4 一般国道 5 5 号	徳島県の全域
5 一般国道192号	徳島県の全域
6 一般国道193号	徳島県美馬市脇町の全域
7 一般国道195号	徳島県の全域
8 一般国道318号	徳島県の全域
9 一般国道438号	徳島県徳島市、名東郡佐那河内村及び美馬市美馬町の全域
10 主要地方道徳島引田線	徳島県の全域
11 主要地方道鳴門池田線	徳島県の全域
12 主要地方道松茂吉野線	徳島県の全域
13 主要地方道徳島吉野線	徳島県の全域
14 主要地方道羽ノ浦福井線	徳島県の全域
15 主要地方道徳島環状線	徳島県の全域

16 主要地方道德	島鴨島線	徳島県の全域
17 一般県道宮倉	徳島線	徳島県徳島市の全域
18 一般県道土成	徳島線	徳島県の全域
19 一般県道大林	津乃峰線	徳島県の全域

令和七年五月九日付け徳島県報第八百二十五号中次のとおり訂正の 正 誤

十 四	十四	ページ
<u>-</u> + -	九	行
に改める。	機管理課長補佐」を「総務危	誤
人ホーム事務組合の項を削る。に改め、同表海部郡特別養護老	佐」を「総務危機管理課長補「総務課課長補佐」総務課財政	Œ